

キャラクター名 プレイヤー名

都柄まひる

シンドローム	エンジェルハイロウ		ワークス	UGNチルドレンB	カヴァー	高校生
	モルフェウス					
オプション			年齢	17	性別	女
覚醒	無知	衝動	自傷	初期侵食率	31	%
出自	待ち望まれた子	経験	平凡への憧れ	邂逅	友人	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	23
肉体	1	0	0			1	行動値	21
感覚	5	1	3	1		10	(非装備時)	21
精神	1	0	0			1	戦闘移動	26
社会	1	0	0	1		2	全力移動	52

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	2		RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
随射貫く光の弾丸 (フィジカールズ)	射撃	9r+2	@8	15		貫通 (30m) ※詳細はメモ
討滅する光の弾丸 (デストロイアールズ)	射撃	10r+2	@8	15		貫通無し全部盛り (30m)

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
半分に欠けた綺麗な石					
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費	
桐生嚙矢	P 友情	N 不安			
母・東雲みやこ	P 信仰	N 恐怖			
姉・都柄よあけ	P 尊敬	N 嫉妬			
御影燈馬 (PC1)	P 同情	N 憐憫			
ファース・ヴァン・ヴォルフ (PC3)	P 尊敬	N 不満			
栗栖海渡 (PC4)	P 有為	N 不信感			
—	P	N			
最大財産P:	4	残り財産P:	0		

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
ハンドレッドガンズ	3	3	マイナー	至近	自身	自動	—	
効果:	攻撃=+LV+4、30m							
コンセントレイト:エンジェルハイロウ	2	2	メジャー	—	—	シンドローム	—	
効果:	クリティカル値を下げる							
小さな塵	4	2	メジャー	武器	—	対決	—	
効果:	組み合わせた攻撃の攻撃+LV*2							
ペネトレイト	1	3	メジャー	武器	—	対決	—	
効果:	装甲値無視 ダイス-1							
天使の外套	★	—	メジャー	至近	自身	自動	—	
効果:	姿を上書きする							
真昼の星	★	—	メジャー	至近	自身	自動	—	
効果:	望遠鏡のような視覚を得る							
スポットライト	★	—	メジャー	至近	視界	自動	—	
効果:	光による演出をする。ただし音楽は鳴らない							
ウサギの耳	★	—	メジャー	至近	自身	自動	—	
効果:	耳が良くなる							
猟犬の鼻	★	—	メジャー	至近	自身	自動	—	
効果:	鼻がよくなる							
	★							
効果:								
	★							
効果:								
	★							
効果:								
効果:								

随射貫く光の弾丸 (フィジカールズ) (装甲無視)
 ペネトレイト (-1dx) +コンセントレイトLv2 (-@2) +射撃9r+2
 ⇒(8dx@8)+2

攻撃判定
 ハンドレッドガンズLv3 (+7) +小さな塵Lv4 (+8)
 ⇒ (ダイスの10の目) d10+15

遠見の狩人《レホスティラドル》
 その力を解放せしめん時、仄かに輝く紫水晶のマジックはどんなものも逃さない。
 遠隔射撃、また追跡トラッキングを得意とするオーヴァード

彼女はUGNの職員であり研究員である両親のもとに生まれ、「ホーム」で育った。
 『名前』は施設で共に育った桐生嚙矢と姉と一緒に考えてつけたものであり、母と父の名前をベースにしている。
 年齢が近く、共にモフェウスを能力として有する桐生嚙矢とは仲が良く、異性の少ない環境ゆえか、恋心といえるかもしれない複雑な好意を持っていた。
 彼が任務の際、失踪、死亡と判断されたが、半信半疑であり、彼の真実を知りたいという思いから、N市での任務に志願した。

熱心な研究者である母親は研究対象として、(愛しい夫のDNAのため) オーヴァードの子を授かることを切に願っており、非オーヴァードであった長子である姉の次にまひるを授かったことを非常に喜び、大切に大切に、手塩にかけて育てた。
 まひるも、2つ上の姉より自分が両親以外のUGN職員にも最真に(実際は研究対象としてのものであったが) されているのを感じ、姉に憐憫にも近い感情をもつ